

2019年度事業報告書

法人の名称 NPO 法人 海の森・山の森事務局

1 事業の成果

2019年度の活動は、今までの活動が実を結んだと言えます。トム・ソーヤースクール企画コンテスト（主催:安藤スポーツ・食文化振興財団、後援:文部科学省、横浜市、横浜市教育委員会）においてグランプリとなる安藤百福賞に加え、横浜市環境活動賞大賞、神奈川県ボランティア活動奨励賞の3つの大きな賞を受賞しました。すべてが、小学校への環境出前授業を通じた子どもたちとの取り組みが高く評価されたものでした。またこれらを足がかりに、より多くの方たちや自治体、企業、活動団体を巻き込みながら、さらにアクティブな展開を今後も行なっていきます。

・大岡川 PGT 大作戦は 16 回実施、のべ 581 名参加、597.683kg を処理

大岡川 PGT (P プラスチック G ゴミ T 獲ったどお) 大作戦 (TOTO 株式会社水環境基金助成事業、一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン助成事業 陸上班と SUP 班、ボート班の3班体制) は、桜木橋周辺エリアと井土ヶ谷エリアにおいて実施。大岡川におけるプラスチックゴミを中心としたゴミを回収し、市の定める分別を実施し、適切に処理を行ないました。年度内 16 回実施し、参加者のべ 581 名 (うち子どものべ 104 名) トータル 597.683kg を処理しました。

・活動写真展 3 回実施、参加者 1,320 名

活動写真展開催 (前述 TOTO 水環境基金助成事業、よこはま夢ファンダ助成事業、一般財団法人セブン-イレブン記念財団助成事業、パタゴニア助成事業) しました。東京湾大感謝祭で赤レンガ倉庫での開催 (釣具メーカー・ダイワとの共催) ではのべ 800 名、茅ヶ崎市役所分庁舎で行われた桂川・相模川流域協議会シンポジウムではのべ 220 名、吉田中学体育館で行われたイベントでは 300 名の計 1,320 名の参加者がありました。私たちの活動を知っていただく以外にも、私たちの身近な環境で何が起きていて、何のために活動しているのかが少なくとも写真展を観てくださった方たちには伝わったと自負しています。

・ダイバーによる海底清掃・調査、茅ヶ崎 2 回実施

ダイバーによる海底清掃事業 (公益財団法人イオン環境財団助成事業) では、茅ヶ崎沖海底清掃を行ないました。参加者のべ 12 名、トータル 25.02kg のゴミを引き上げ、各市の定める分別により適正に処理しました。

・釣り人とダイバー、小学生による城ヶ島ビーチクリーン 4 回実施、279 名参加、173.617kg 処理

釣り人とダイバー、小学生による城ヶ島ビーチクリーン大作戦 (公益財団法人イオン環境財団助成事業、公益財団法人アイネット地域振興財団助成事業、よこはま夢ファンダ助成事業) では、相模湾と東京湾の双方から漂着するプラスチックゴミのビーチクリーン活動を行ないました。4 回開催してのべ 279 名が参加し、173.617kg のプラスチックゴミを中心とするゴミを回収し、三浦市の定める規定に従って適正に処理しました。この事業で、釣り具メーカーの最大手のダイワ (現社名・グローブライド株式会社)、城ヶ島ダイビングセンター、城ヶ島漁業協同組合との協働でとり行いました。

・環境出前授業 30 回実施

環境出前授業事業 (よこはま夢ファンダ助成事業、パタゴニア助成事業、一般財団法人セブン-イレブン記念財団助成事業、公益財団法人アイネット地域振興財団助成事業、一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン助成事業) は、総合学習として海洋プラスチック汚染、マイクロプラスチック問題、地球温暖化問題などのテーマを年間 30 回にもおよぶ出前授業を実施。

教室にとどまらず、バスをチャーターするなど、現場に子どもたちと一緒に出て、マイクロプラスチック粒子や漂着プラスチックゴミ拾いを体験してもらい、ゴミの実態やゴミによる環境への悪影響の実態を知ってもらいました。また、子どもたちによるエコバッグ製作と近くのスーパーへの無償貸与など、レジ袋削減などのアクションにつながりました。

・新聞や雑誌の取材を数多く受けました

また、今年度は、神奈川新聞に5回、東京新聞に2回、雑誌・日経 Kidsに1回、当NPOの活動が取材掲載されました。また、神奈川県と山梨県の共同事業である「桂川・相模川流域協議会」の横浜支部長に当NPO理事長が2020年度から就任することが決まりました。

今年度の活動によって、自治体をはじめ、企業や団体、流域の方たちや活動団体との築いた連携を、次年度以降の活動にも役立て、会員獲得や事業収入を得られるようなプロジェクトへと脱皮を重ねていきます。また、環境出前授業を、より深みのある活動へと今後流域の各小学校とも連携しながらその可能性を探ります。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

自然環境保護に関する普及啓発事業

1 大岡川ゴミ拾い事業

- ・内 容 大岡川 PGT (P プラスチック G ゴミ T 獲ったどお) 大作戦 (TOTO 水環境基金助成事業、セブン-イレブン記念財団助成事業、コンサベーション・アライアンス・ジャパン助成事業)
- ・日 時 4月5日、4月13日、5月4日、5月18日、6月1日、7月20日、8月3日、8月17日、9月7日、10月19日、11月2日、11月15日、12月22日、1月4日、2月1日、2月15日
計16回実施
- ・場 所 大岡川 (神奈川県横浜市中区日ノ出町から黄金町、南区井土ヶ谷)
- ・従事者人員 のべ81人
- ・受益対象者 参加者のべ581人
- ・支出額 963,950円 (内訳 旅費交通費 50,000円、通信運搬費 122,000円、物品費 85,360円、広告宣伝費 180,000円、賃借料 324,000円、報償謝礼費 100,000円、保険料 20,000円、管理費 82,590円)

2 写真展開催事業

- ・内 容 活動写真展開催 (TOTO 水環境基金助成事業、セブン-イレブン記念財団助成事業、パタゴニア助成事業、コンサベーション・アライアンス・ジャパン助成事業)
- ・日 時 4月28日～5月6日 (みなとみらい MM テラス)、10月20～10月21日 (東京湾大感謝祭 赤レンガ倉庫)、11月10日 (桂川・相模川流域協議会シンポジウム 茅ヶ崎市役所分庁舎) 計3回 12日間実施
- ・場 所 みなとみらい MM テラス、赤レンガ倉庫、茅ヶ崎市役所分庁舎
- ・従事者人員 のべ32人
- ・受益対象者 観覧者のべ1,680人
- ・支出額 350,599円 (内訳 旅費交通費 11,500円、通信運搬費 84,000円、広告宣伝費 35,000円、報償謝礼費 40,000円、消耗品費 150,160円、管理費 29,939円)

3 茅ヶ崎沖海底調査およびゴミ拾い事業

- ・内 容 ダイバーによる海底清掃（公益財団法人イオン環境財団助成事業）
- ・日 時 12月 14日、15日
- ・場 所 茅ヶ崎沖・烏帽子岩
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 参加者12人、海底がきれいになることで受益する方多数
- ・支出額 328,740円（内訳 旅費交通費14,600円、通信運搬費30,000円、賃借料255,750円、管理費28,390円）

4 海岸と海底のゴミ拾い事業

- ・内 容 釣り人とダイバー、小学生による海底と海岸清掃（公益財団法人イオン環境財団助成事業）
- ・日 時 9月19日、28日、29日、11月12日
- ・場 所 城ヶ島・梶の浜、漁港
- ・従事者人員 13人
- ・受益対象者 参加者279人、海底と海岸がきれいになることで受益する方多数
- ・支出額 1,374,987円（内訳 旅費交通費19,600円、通信運搬費52,000円、賃借料1,185,180円、管理費118,207円）

5 環境出前授業事業

- ・内 容 環境出前授業実施事業（よこはま夢ファンド助成事業、パタゴニア助成事業、一般財団法人セブン-イレブン記念財団助成事業、公益財団法人アイネット地域振興財団助成事業、コンサベーション・アライアンスジャパン助成事業）
- ・日 時 6月1日、6月12日、6月18日、7月16日、7月18日、7月22日、8月9日、8月17日、8月20日、9月19日、9月27日、9月29日、10月21日、11月6日、11月10日、11月11日、11月12日、11月19日、11月28日、12月5日、12月6日、12月9日、12月13日、12月17日、12月19日、1月16日、1月18日、2月12日、2月13日、2月14日
計30回実施
- ・場 所 横浜市立日枝小学校、横浜市立瀬谷第二小学校、横浜市立中尾小学校、横浜市立荏田東第一小学校、横浜市立大正小学校、横浜市立和泉小学校、横浜市立馬場小学校学童保育、横浜市立吉田中学校、横浜市立東高等学校、茅ヶ崎市高砂コミュニティセンター、茅ヶ崎海岸、城ヶ島、大岡川蒔田公園、茅ヶ崎市役所分庁舎、エコプロダクツ展など。
- ・従事者人員 のべ49人
- ・受益対象者 参加者のべ1,627人
- ・支出額 2,997,761円（内訳 旅費交通費11,303円、通信運搬費120,000円、物品費796,486円、賃借料880,910円、業務委託費100,000円、報償謝礼費822,000円、保険料10,000円、管理費257,062円）